



# TeamViewer 9 マニュアル

## Wake-on-LAN

---

バージョン 9.2-12/2013



# 目次

1	Wake-on-LAN のバージョン情報 .....	3
2	要件 .....	4
3	Windows のセットアップ .....	5
3.1	BIOS の設定 .....	5
3.2	ネットワークカードの設定 .....	6
3.3	Windows 8 の設定 .....	7
4	Mac OS X のセットアップ .....	7
4.1	ネットワークカードの設定 .....	8
5	TeamViewer の設定 .....	8
5.1	TeamViewer アカウントにコンピュータを割り当て .....	9
5.2	ネットワーク経由で TeamViewer ID にて Wake-on-LAN .....	10
5.3	パブリックアドレス経由で Wake-on-LAN .....	11
6	コンピュータの起動 .....	12
7	付録 .....	13
7.1	ルーターの設定 .....	13
	7.1.1 ローカルネットワークのブロードキャストアドレスへのポート転送の設定 .....	13
	7.1.2 あるコンピュータへのポート転送の設定 .....	13



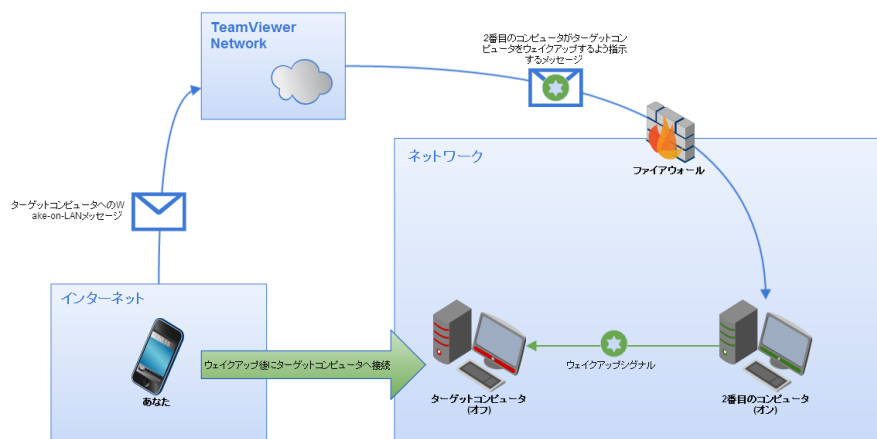
# 1 Wake-on-LANのバージョン情報

TeamViewer を使用して Wake-on-LAN 経由でオフィスコンピュータの電源を入れることができます。

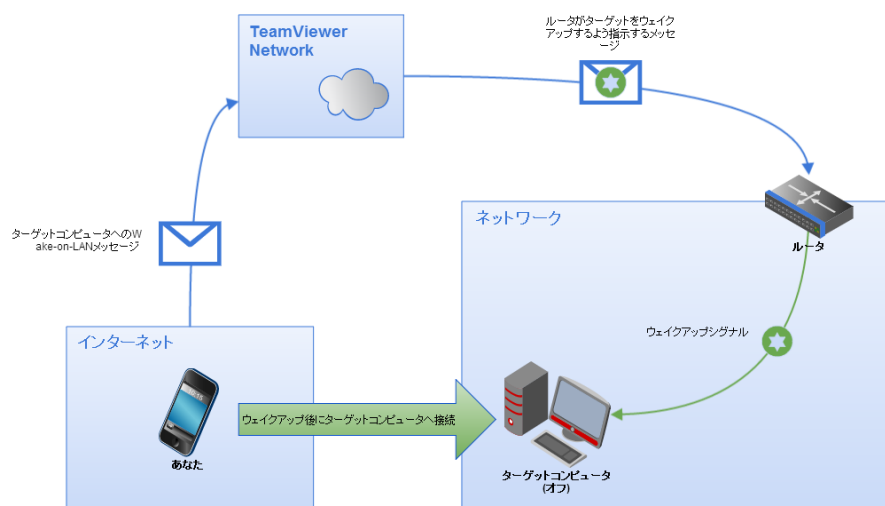
接続を確立する前にリモートでオフィスコンピュータを起動して操作できます。

Wake-on-LAN の使用方法は 2 通りあります。

- 同一ネットワーク内の他のコンピュータから対象のコンピュータを起動することができます( [第5.2項10](#)ページ参照)。



- パブリックアドレスからコンピュータを起動します( [第5.3項・11](#)ページ参照)。



本マニュアルは TeamViewer Wake-on-LAN を使用するための要件と手順を説明しています。特に記述がないかぎり、ここで説明される機能は Microsoft Windows 版のフルバージョンの TeamViewer の機能です。



## 2 要件

Wake-on-LAN でコンピュータを正常に起動するには、ハードウェアが以下の要件を満たしている必要があります。

以下の確認項目にて、コンピュータが Wake-on-LAN の使用要件を満たしているかを確認して下さい。

- 電源に接続されている。
- ネットワークカードがWake-on-LANに対応している。
- インターネットに接続されている。
- ネットワークケーブルにてインターネットに接続されている。
- 以下のいずれかの電源状態にある。
  - スリープ  
スタート > スリープ
  - 休止  
スタート > 休止
  - シャットダウン(ソフトオフ)  
スタート > シャットダウン  
Mac OS Xでは対応していません



対応している電源の状態

これらの要件を満たしている場合は、以下のステップでコンピュータとソフトウェアを設定します。



## 3 Windowsのセットアップ

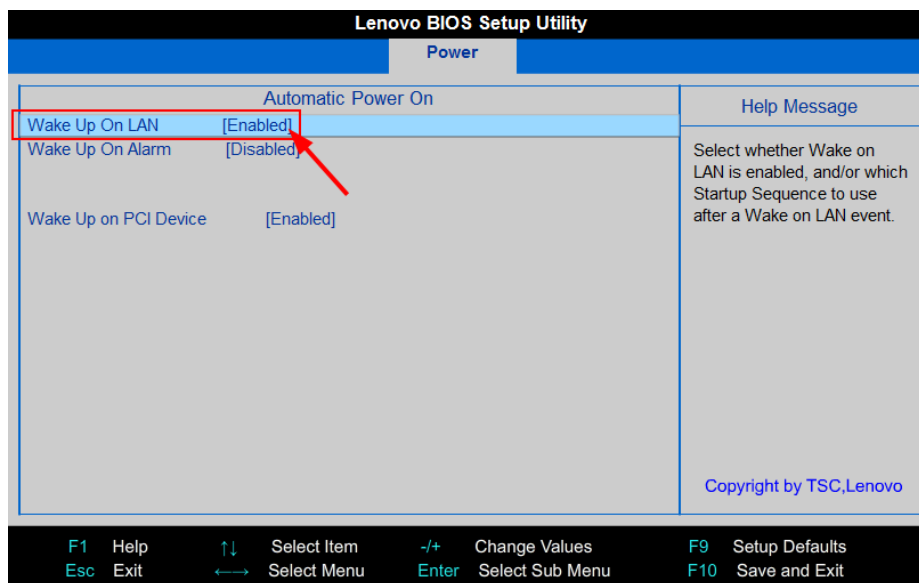
コンピュータを起動するには、コンピュータ上および TeamViewer 上にてオプションが適切に設定されている必要があります。

### 3.1 BIOSの設定

BIOS で Wake-on-LAN の有効化が必要となる場合もあります。また、この手順は各コンピュータにより異なる場合があります。

**BIOSでWake-on-LANを有効する手順は以下の通りです。**

1. コンピュータを起動します。
2. F2 キー(またはこれに相当するキー)を押し、BIOS のセットアップにアクセスします。  
→ BIOS のセットアップが開きます。
3. **[電源]** タブを開きます。
4. Wake-on-LAN オプションを有効にします。
5. BIOS のセットアップを保存して終了します。



BIOSのWake-on-LAN有効化

**注:** BIOSにWake-on-LANを有効にするオプションがない場合は、マザーボードのマニュアルにてWake-on-LANに対応しているかを確認してください。



## 3.2 ネットワークカードの設定

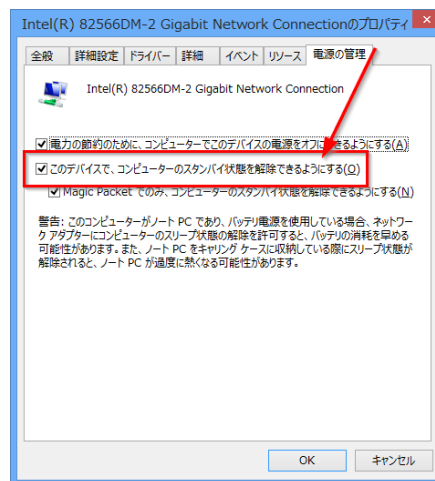
コンピュータのネットワークカードに常に電源が供給されている必要があります。このため、ネットワークカードのプロパティを調整する必要があります。

**注:** この設定には、管理者権限が必要です。

**注:** ネットワークカードの設定はネットワークカードのタイプとオペレーティングシステムのバージョンによって異なります。

**WindowsでネットワークカードのWake-on-LANを有効化する手順は以下の通りです。**

1. コンピュータを起動します。
2. [コントロールパネル] タブを開きます。
3. [システムとセキュリティ] をクリックします。
4. [システム] 下の[デバイスマネージャ] リンクをクリックします。  
→ [デバイスマネージャ] ウィンドウが開きます。
5. [ネットワークアダプタ] 内のネットワークカードのコンテキストメニュー (右クリック) から [プロパティ] オプションを選択します。  
→ [<ネットワークカード> のプロパティ] ダイアログが開きます。
6. [電源の管理] タブを開きます。
7. [このデバイスで、コンピューターのスタンバイ状態を解除できるようにする] オプションを有効にします。
8. これによりネットワークカードが Wake-on-LAN をサポート可能となります。



WindowsのネットワークカードのWake-on-LANの有効化

**注:** 手順7のオプションが無効な場合は、最初に[電力の節約のために、コンピューターでこのデバイスの電源をオフにできるようにする] を有効にする必要があります。



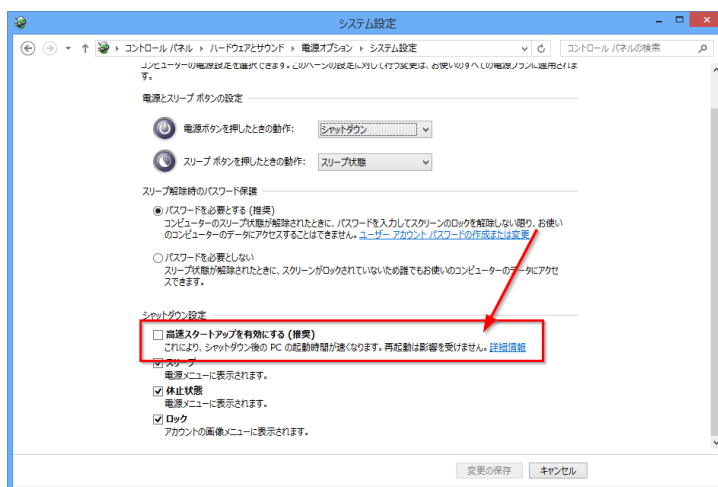
### 3.3 Windows 8の設定

Windows 8 の標準のシャットダウンではコンピュータを"ハイブリッドシャットダウン"状態にします。Windows 8はこの状態ではWake-on-LANに対応していないため、この高速スタートアップを無効にすることを推奨します。高速スタートアップが無効化されると、シャットダウン時は常に休止状態になります。

**注:** この設定には管理者権限が必要です。

**Windows 8で高速スタートアップを無効化する手順は以下の通りです。**

1. コンピュータを起動します。
2. [コントロールパネル] を選択します。  
→ [コントロールパネル] ウィンドウが開きます。
3. [システムとセキュリティ] をクリックします。
4. [電源オプション] 下で [電源の動作の変更]リンクをクリックします。
5. [現在利用可能ではない設定を変更します] リンクをクリックします。
6. [高速スタートアップを有効にする(推奨)] ボックスのチェックを外します。
7. 高速スタートアップが無効化されます。



Windows 8で高速スタートアップを無効化

## 4 Mac OS Xのセットアップ

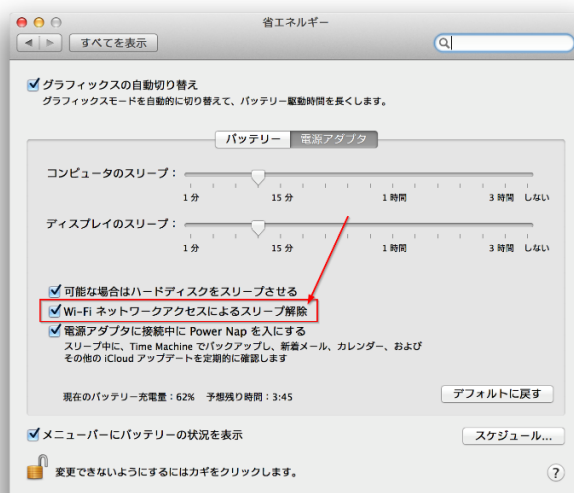
コンピュータのネットワークカードに常に電源が供給されている必要があります。これには、ネットワークカードのプロパティを調整する必要があります。



## 4.1 ネットワークカードの設定

MacでネットワークカードのWake-on-LANを有効化する手順は以下の通りです：

1. Mac を起動します。
2. [システム設定] を開きます。  
→ [システム設定] ウィンドウが開きます。
3. [省エネルギー] をクリック
4. 電源タブをクリックします。
5. [Wi-Fi ネットワークアクセスによるスリープ解除] オプションを有効にします。
6. ネットワークカードが Wake-on-LAN をサポート可能となります。



Mac OS Xでネットワークカード用のWake-on-LANを有効化

## 5 TeamViewer の設定

コンピュータを起動するには、対象の端末上で TeamViewer を設定する必要があります。本手順にて、TeamViewer を設定することでパブリックアドレスまたはネットワーク内のコンピュータからの起動が可能となります。

以下の確認項目にて、コンピュータ上の TeamViewer の Wake-on-LAN 設定を確認します。

- TeamViewerがインストールされている。
- コンピュータがTeamViewerアカウントに割り当てられている。
- TeamViewer Wake-on-LANが有効化されている。
- ネットワーク経由のWake-on-LANでは、起動するコンピュータのTeamViewer IDがTeamViewer Wake-on-LANオプションに入力されている。





- パブリックアドレス経由のWake-on-LANでは、コンピュータのパブリックアドレスが TeamViewer Wake-on-LANオプションに入力されている。

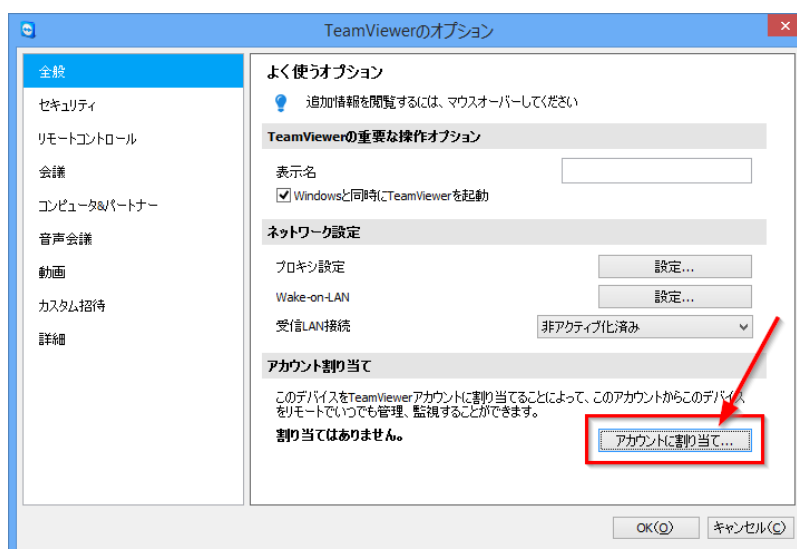
## 5.1 TeamViewer アカウントにコンピュータを割り当て

コンピュータが許可のない人物から起動されないことがないように、コンピュータが自分自身に属することを確認します。コンピュータをお持ちの TeamViewer アカウントに割り当てることで、コンピュータに割り当てられた TeamViewer アカウントからのみ起動可能となります。

**注：** 起動されるコンピュータが共有グループにある場合は、グループを共有するすべての TeamViewer アカウントはこのコンピュータを起動できます。

コンピュータを TeamViewer アカウントに割り当てる手順は以下の通りです：

1. コンピュータで TeamViewer を起動します。
2. メインメニューで **[その他|オプション]** をクリックします。  
→ **[TeamViewer のオプション]** ダイアログボックスが開きます。
3. **[全般]** カテゴリを選択します。
4. **[アカウント割り当て]** 下で **[アカウントへ割り当て...]** ボタンをクリックします。  
→ **[アカウントへ割り当て]** ダイアログボックスが開きます。
5. **[電子メール]** 入力欄に TeamViewer アカウントのメールアドレスを入力します。
6. **[パスワード]** 入力欄に TeamViewer アカウントのパスワードを入力します。
7. **[割り当て]** ボタンをクリックします。
8. コンピュータが TeamViewer アカウントに割り当てられます。



TeamViewer アカウントへコンピュータを割り当て



## 5.2 ネットワーク経由でTeamViewer IDにてWake-on-LAN

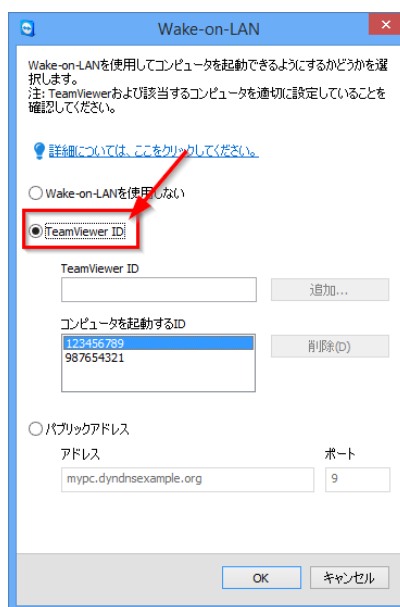
コンピュータにパブリックアドレスがない場合、同じネットワーク上の他のコンピュータを使用して起動が可能です。対象となるコンピュータの電源を入れ、TeamViewer をインストールし、Windows と同時に起動するよう設定します。

この場合は、TeamViewer オプションのネットワークから Wake-on-LAN を有します。

次に、起動元となるコンピュータの TeamViewer ID を入力します。起動信号は、使用中のコンピュータから起動されるコンピュータへ送信されます。

**TeamViewer IDからTeamViewer Wake-on-LANを有効化する手順は以下の通りです：**

1. コンピュータで TeamViewer を起動します。
2. メインメニューで **[その他|オプション]** をクリックします。  
→ **[TeamViewer のオプション]** ダイアログボックスが開きます。
3. **[全般]** カテゴリを選択します。
4. **[ネットワーク設定| Wake-on-LAN]** 下で、**[設定…]** ボタンをクリックします。  
→ **[Wake-on-LAN]** ダイアログが開きます。
5. **[使用中のネットワークの TeamViewer ID]** オプションボタンをクリックします。
6. **TeamViewer ID** 入力欄に、起動信号が送信されるネットワークの TeamViewer ID を入力し、**[追加…]** ボタンをクリックします。
7. **[OK]** ボタンをクリックします。
8. 保存された TeamViewer ID からコンピュータを起動できるようになります。



TeamViewer IDを使用しWake-on-LANを有効化

**注：** 常時Wake-on-LANを利用可能とするには、起動信号を送信するコンピュータに常時電源が入っており、TeamViewerが起動している必要があります。



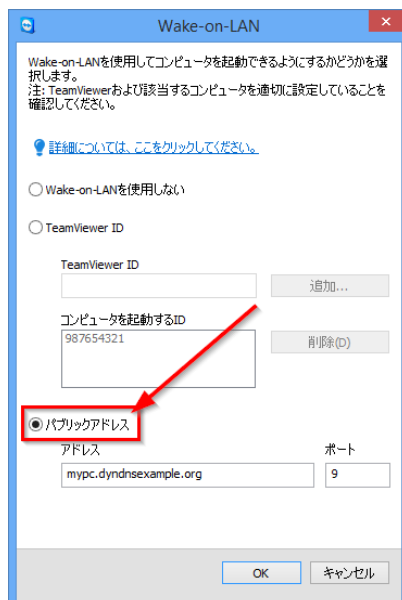
## 5.3 パブリックアドレス経由でWake-on-LAN

パブリックアドレスでコンピュータを起動したい場合は、常に使用中のコンピュータを識別できる必要があります。

これは、インターネットプロバイダ経由の固定、スタティック IP アドレスがあるか、またはダイナミック DNS プロバイダ ([http://en.wikipedia.org/wiki/Dynamic\\_DNS](http://en.wikipedia.org/wiki/Dynamic_DNS) 参照) 等でコンピュータにアクセスが可能な場合となります。これらの条件が満たされた場合は、TeamViewer のオプションのパブリックアドレスから Wake-on-LAN を有効にすることができます。

**パブリックアドレスからTeamViewer Wake-on-LANを有効にする手順は以下の通りです：**

1. コンピュータの TeamViewer を起動します。
2. メインメニューで[その他|オプション]をクリックします。  
→ [TeamViewer のオプション]ダイアログボックスが開きます。
3. [全般]カテゴリを選択します。
4. [ネットワーク設定| Wake-on-LAN]下で、[設定...] ボタンをクリックします。  
→ Wake-on-LAN ダイアログが開きます。
5. [パブリックアドレス]オプションボタンをクリックします。
6. [アドレス] 項目にて、固定 IP アドレスまたはコンピュータの DNS 名を入力します。
7. [ポート]フィールドで、コンピュータがアクセスされる UDP ポートを入力します([第 7.1 項、13 ページ](#)参照)。
8. [OK] ボタンをクリックします。
9. パブリックアドレスと TeamViewer 経由でコンピュータを起動できるようになります。



パブリックアドレスを使用しWake-on-LANを有効化



## 6 コンピュータの起動

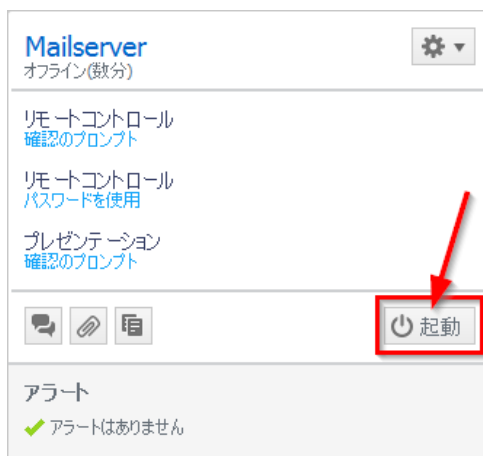
コンピュータが第1の要件を満たしており、第3章、第4章および第5章の記述通りに設定されている場合は、他のデバイスよりコンピュータを起動することが可能です。

**注意：** 使用前の機能のテストが強く推奨されています。これによって緊急事態に備えることができます。

**注：** Windows、Mac OS X、iOS、Windows Phone版のTeamViewer 9とTeamViewer Management Consoleを使用してコンピュータを起動することができます。

コンピュータを起動する手順は以下の通りです：

1. 既存のインターネット接続でデバイスを起動します。
2. TeamViewer を開きます。
3. TeamViewer アカウント内でコンピュータ&パートナーリストにログインします。起動したいデバイスを TeamViewer アカウント(第5章・8ページ参照) に割り当てます。
4. コンピュータ&パートナーリストから起動したいオフラインコンピュータを選択します。
5. コンテキストメニュー(右クリック)、**[起動]** ボタンをクリックします。
6. コンピュータが起動してコンピュータ&パートナーリストでオンラインとして表示されます。



コンピュータの起動



# 7 付録

## 7.1 ルーターの設定

ルーター上の設定は、[パブリックアドレス]オプションを選択した場合のみ必要となります。[使用中のネットワークの TeamViewer ID] を選択した場合は、本章の手順は不要です。

ルーターの設定は使用するデバイスとインストールされたファームウェアによります。必要な設定をサポートしていないデバイスもありますのでご了承ください。

ルーターのパブリックアドレスを経由した Wake-on-LAN をサポートするにはポート転送の設定が必要です。使用するルーターによっては、以下の設定のみサポートしている場合があります。

**注:** ルーターを設定の際は、必要に応じ製造元のマニュアルを参照してください。

### 7.1.1 ローカルネットワークのブロードキャストアドレスへのポート転送の設定

ローカルネットワーク内のすべてのコンピュータを起動するには、ルーターのマニュアルに記載の通りに、着信 UDP ポート(ポート番号9等)からローカルネットワークのブロードキャストアドレス(".255"で終わることが多い)にポート転送を設定します。この設定は、上記の指示通りに設定されたルーターのローカルネットワークのすべてのコンピュータを起動できるようにします。

**例:** ローカルネットワークが 192.168.1.0 およびサブネットマスク 255.255.255.0 で設定されている場合は、UDP ポート 9 から 192.168.1.255:9 へのポート転送を設定する必要があります。場合によっては、ポート転送の宛先として ".255" で終わるブロードキャストアドレスは許可されません。この問題はローカルネットワークのサブネットマスクを小さくすることで(255.255.255.128 等)解決する場合があります、その場合はブロードキャストアドレスは ".127" で終わります。

### 7.1.2 あるコンピュータへのポート転送の設定

ローカルネットワーク内のあるコンピュータを起動できるようにするためには、ルーターのマニュアル通りに、着信 UDP ポート(ポート番号9等)から起動するコンピュータのローカル IP アドレスへのポート転送を設定します。使用中のルーターが、コンピュータの電源が入っていない場合にもアクセスできることを確認します。そのためには、ARP エントリをルーターで保存して(ルーターの命令を参照)このコンピュータの MAC アドレスに、起動するコンピュータの IP アドレスを表示します。このコンピュータが固定 IP アドレスの場合(DHCP でない場合)、ルーターによっては適切なスタティック ARP エントリを生成する場合があります。場合によっては、ルーターの設定メニューからスタティック ARP エントリの適切なコンフィグレーションが取得できないことがあります。その場合は Telnet または SSH から ARP エントリを設定できます。